

子どもの健康を守ろう～予防接種・健診・相談・医療情報～

小さい子どもは抵抗力が弱く、体調を崩したり病気になることがあります。いざという時の為に、医療機関・相談窓口を確認しておきましょう。予防接種や健康診査は赤ちゃんの心身の健康を守る大切なものです。忘れずに受けましょう。

予防接種を受けよう

◎定期予防接種(対象年齢の方は無料) ※2021年3月現在
ロタ・ヒブ・肺炎球菌・B型肝炎・四種混合・二種混合(DT)・BCG・麻しん風しん・水痘・日本脳炎
全て医療機関で接種できます。「小郡市健康カレンダー」を参考にしてください。詳しくは赤ちゃん訪問でご説明します。

健康診査を受けよう

対象の方には、個別に案内します。

- ◎4か月健診(問診・身体計測・内科診察・保健相談)
- ◎10か月健診(歯のお話・問診・身体計測・内科診察・保健相談・ブックスタート)
- ◎1歳6か月健診(食のお話・問診・歯科健診・身体計測・内科診察・フッ素塗布・保健相談)
- ◎3歳1か月健診(尿検査・食のお話・問診・歯科健診・身体計測・内科診察・フッ素塗布・保健相談・自宅にて視力検査とささやき声検査)

離乳食教室と育児発達相談

- ◎離乳食教室 ※要予約(先着順)
調理実習をしながら離乳食の基本を学びます。
保護者の方のみ試食があります。
 - ◎育児発達相談 ※要予約
身体計測と子育て(育児・予防接種・母乳・食事・歯の事)に関する相談ができます。助産師・保健師・管理栄養士・歯科衛生士がお待ちしております。
- ※歯みがき相談希望者は歯ブラシを持参ください。

問合せ 健康課(あすてらす内) ☎72-6666

食の啓発コーナー(総合保健福祉センターあすてらす)

ピンクのエプロンでお馴染みの食生活改善推進員(健母の会)が食や子育てに関することなど応援します。

問合せ 食の啓発コーナー(あすてらす内)
☎72-6666

子どもの夜間救急診療のご案内

毎日(365日)午後7時～午後11時の診察(受付終了は午後10時30分)

〈場所〉 久留米広域小児救急センター
(聖マリア病院地域医療支援棟1階)

久留米広域小児救急センター事業は、地域の医師会・久留米大学病院・久留米大学医療センター・聖マリア病院の小児科医による診察、病院の連携、行政の財政支援など、地域の連携のもとに、夜間の小児科初期救急診療を実施しています。お子様が急病の際にご利用ください。



現在、久留米市・大川市・小郡市・うきは市・大刀洗町・大木町・鳥栖市・基山町・上峰町・みやき町・吉野ヶ里町・柳川市・国・県がこの事業の財政支援を行っています。

小児救急医療電話相談窓口のご案内

#8000 (プッシュ回線、携帯電話)

ダイヤル回線 ☎0942-37-6116

・子どもの救急医療(病気、ケガ、薬、応急処置など)
について、看護師または小児科医が助言します。

〈相談時間〉 (平日)19時～翌朝7時
(土曜)12時～翌朝7時
(日祝)7時～翌朝7時

社会福祉法人 こぐま福祉会

こぐま福祉会は、地域と連携し
全ての子ども達が健やかに、いきいきと
生活するために必要な「支援」を行います。

お子様の発達相談・支援

乳幼児期

- 発達が気になる
- お友達と一緒に遊べない
- ことばが遅い・癩癩がひどい
- 園での対応が難しいと言われた
- その他気になることがある

学童期

- 学習が進まない
- 友達とのトラブルが続く
- 学校での集団行動が難しい
- その他気になることがある

子どもはみんな、それぞれ違った個性をもっています。
でも、「こんな時はどうしたらいいのかな・・・」と
不安な時は一人で思い悩まずにいつでも
ご相談ください。

病児・病後児保育事業

病気やケガをされたお子様のお預かり

- ・小郡市在住の生後3ヶ月から小学6年生まで

(小郡市受託事業)



こぐま学園

- ・こぐま学園診療所
- ・相談支援事業所 セルフサポートこぐま
- ・児童発達支援センター ゆう
- ・児童発達支援センター はぐ
- ・児童発達支援事業 しろくま
- ・放課後等デイサービス事業 こぐまクラブ
- ・病児 / 病後児保育 こぐま子どもの家

住 所 : 小郡市大板井1143-1

電 話 : 0942-72-7221 FAX: 0942-72-7222

メール : info@koguma.ed.jp



Since 1982

